



茗溪 かながわ

MEIHEI KANAGAWA

NO.19

発行 神奈川茗溪会 (旧 茗溪会神奈川支部) 発行者 加藤充洋

令和5 (2023) 年 6月

茗溪かながわ 第19号の 発行に際して

神奈川茗溪会会長 加藤 充洋



再構築、それが私の役割

大畑前会長には茗荷谷の時代の最後を締めくくっていただきました。私の会長としての役割は、本会の再構築です。

明治期より日本の教育界の柱であった茗溪会。それが当会の唯一の固定されたイメージであるなら、それを発展的に打ち壊さないとはいけません。

平成の時代に筑波大の卒業生の進路が急速に多様化し、教職に就く卒業生は全体の5%程度です(1%台の時期もありました)。

一方で民間に進出した卒業生がいたるところで花を咲かせています。いまだ当会が教員の集まりと

いうイメージがあるなら、それを打ち破る必要があります。

また、私は初めての筑波世代の会長です。平砂・一の矢、といった言葉が懐かしい世代です。今まで先輩方が東京の様子を語っている時には私は蚊帳の外でした。しかし茗溪会に登録されている会員数はとうに筑波世代が過半になっています。この状況も新たな展開が必要なゆえんです。

加えて、時代の流れによる会員数の問題があります。もはや大学等の卒業生のほとんどが同窓会組織に入会する時代ではありません。神奈川茗溪会も今までの在り方を抜本的に見直し、今日的な同窓会の在り方、新たな存在価値を探らなくては求心力が弱まるばかりでしょう。会員の数は当会の活動にかかわります。例えばこの会報の発行にも直結します。

リアルな「弱いつながり」

…茗溪の水脈…

では換骨奪胎して今後も残すべき神奈川茗溪会とはどんなものな

のでしょうか？

「血は水よりも濃い」という言葉は、つながりが濃いことを大事にするという意味でしょう。当会は血でつながっていないどころか、話したこともない関係がほとんどです。私たちの微かな共通項は「宣揚歌」を歌っていたことだけなのではないでしょうか。

…では大事な会とは言えないか？

私は逆にこの微かだがリアルなつながりがこそが貴重であると主張します。その理由として新進の哲学者である東浩紀氏の著書『弱いつながり』の趣旨をお借りしたいと思います。そこで描かれている「弱いつながり」はまさに私たちのあり様です。

世はSNS時代、LINEでポチッとすれば、同じ趣味の人たちとオンラインで濃いつながりを築くことも可能です。海外の人ともつながれます。よい時代だと思います。しかし東氏は、今の時代にあってリアルな「弱いつながり」は貴重だと主張します。なぜならSNSでは気が向かなければ永遠につながらないからです。

一方、私たち同窓は嫌でもすでにリアルな「弱いつながり」があります。同窓という、一見閉鎖的ですが、実質的には関係性が弱いがゆえに随分と開放的で自由な関係です。私はそこに本会の存在意義があると考えています。

具体的な本会の役割は、リアル

な「弱いつながり」をたよりに、軽い気持ちで語り合える饗宴の機会を用意したり、筑波大学が箱根駅伝に出るようなときには集って声援を送れるように連絡したりするゆるい活動が考えられます。ここでは互いに利害の関係もなく、年齢の差や職業の違いも気にせず、付度の必要も全くありません。皆様が集えるような機会には、

学生時代の話を肴に、しみじみしたり盛り上がりたったりしてはありませんか。これからは他業種との出会いから新たな気づきを得たり、新たな世界を広げたりするような会であればと思います。

一方で茗荷谷時代の先輩方の故郷としての会のあり様も大切にしていかななくてはなりません。

「茗溪の水」はたとえ湧出していなくても、枯れずに地下水脈にあり続けます。会員の皆様におかれましては、ぜひ未来的な神奈川茗溪会の「弱いつながり」を遠い故郷にしていただければ幸いです。

(s 56 筑社会)

「意見をください」

今回の会長挨拶は、会のリノベーションが急務であることを訴えさせていただきました。今後、総会の簡素化や会報の一部デジタル化等も考えたいと思っています。

皆様からご意見を頂ければ幸いです。事務局までお寄せください。

会員の皆様

神奈川茗溪会
会長 加藤 充洋

神奈川茗溪会総会と懇親会のご案内

青葉若葉のみぎり、会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のほどお喜び申し上げます。

さて、2年間の休会を経て、昨年度再開いたしました神奈川茗溪会の総会ならびに懇親会を、下記の要領で開催いたしますので、ご参集くださいますよう、ご案内申し上げます。

また、昨年少しでも安定した収入を目指してご承認いただきました「御芳志」につきましては、支部会費の納入の折に、加えて納金いただきますように、ご協力をお願いいたします。

記

開催日時 令和5年7月22日(土) 11:30~(受付11:15)

開催場所 ホテル・ザ・ノット・ヨコハマ(旧:横浜国際ホテル)

横浜市西区南幸 2-16-28

TEL 045-311-1311

●JR・地下鉄・みなとみらい線横浜駅より徒歩5分

*例年の場所から変更になっていますので、
ご注意ください。

日程

役員会 11:00~11:30

総会 11:30~12:00

懇親会 12:00~14:00

懇親会費等(当日、受付にて申し受けます)

10,000円(支部会費1,000円を含みます)+御芳志

*本部会費3,500円の納入も受け付けております。

出欠席につきましては7月7日(金)までに、返信用葉書にてお知らせください。

*支部会費納入のお願い

当日参加できない方は、同封の払い込み用紙にて支部会費(1,000円)および御芳志(任意)の合計額をご自身でご記入いただき、振込いただきますよう、お願い申し上げます。



事務局長 大石 進 (s56 筑体) 090-1536-1745 ssuoishi-5812.syk@docomo.ne.jp

川崎地区【川崎市】

委員 西村 宗一郎 (s51 教大植) 045-362-7010

委員 南 敏章 (s52 教大数) 045-945-2086

横浜地区【横浜市】

委員 佐々木 悦子 (s46 教大体) 045-784-0670

委員 望月 正大 (s51 教大数) 045-812-0281

横三・湘鎌地区【横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、三浦郡、茅ヶ崎市、藤沢市、高座郡】

委員 鈴木 彰 (s49 教大地) 0467-52-5354

委員 瀬木 明 (s52 教大応数) 090-1040-3612

平秦・西湘地区【平塚市、小田原市、中郡、足柄上郡、足柄下郡、南足柄市、秦野市、伊勢原市】

委員 細谷 俊一 (s47 教大生化工) 0465-77-2046

委員 山田 和彦 (s53 教大農) 046-288-1560

北相地区【厚木市、海老名市、綾瀬市、大和市、座間市、相模原市、愛甲郡、神奈川県外】

委員 大島 恵子 (s46 教大植) 042-715-0317

委員 本木 幹雄 (s50 教大体健) 090-3817-3402

会員計報(令和4年7月以降)

山岸高旺 (s22 理三)
福田啓子 (s23 農教)
八木澤亮 (s23 理二)
稲田順一 (s28 教大物)
竹内 巧 (s30 教大哲)
福原建郎 (s30 教大農)
川崎光男 (s32 教大農工)
古谷嘉邦 (s33 教大健)
進藤隆博 (s34 教大地)
柏木丈一 (s35 教大数)
桑原 信 (s35 教大体)
藤原功達 (s37 院修教)
樋口禎一 (s38 院博教)
山本眞一 (s42 教大林)
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。